

## 授業づくりをこうマネジメントする(第9回)

# 1 「感動・憧れ・誇り」を大切にした教育が荒れを克服する

関西外国語大学 中嶋洋一

**中嶋** 友呂岐中学校は、3つのことを目指しておられるように思います。それは①「教師全員で、学校行事や授業の中で**感動**を目指す生徒」、②「3年間で先輩に**憧れ**、後輩から**憧れられる**生徒」、③「この学校に来てよかったと、心から**誇り**を感じる生徒」を育てることです。

**吉田** そうです。私は教師になってから、ずっと生徒たちに**感動**と**共感**をもってほしいと願ってきました。そして、最後はおかげさまで**感謝**をすることです。**目標をもつこと、それに向けて努力することがどんなに価値のあることなのか**を実感してほしいからです。ですから、学年でも最初に「最後のシーンのイメージ」をみんなで共有するようにしています。たとえば、小学生と一緒に校区の「地域安全



**マップ**」を作ったときは、生徒たちに小学生から憧れられる存在になるには、どんな発表になればいいか考えてみようと呼びかけました。

**中嶋** 感動と共感と感謝をテーマにするのに何かきっかけとなることがあったのですか。



**吉田** ずっと体操部を指導していて、若いときは**どちらか**というと、**勝利至上主義**でした。しかし、あるとき気がついたんです。素質や才能のある子を中心に見るより、**大きく全体を見る**ことが**どんなに大切**で、しかも**子どもたち個々の成長**や**いい集団づくりに繋がるか**ということ。そのような指導を心がけてから、部の成績も上がっていったのですから不思議なものです。これを見てください。荒れていた子どもたちが卒業するとき、彼らがこんなことを言ってくれたんです。思わずジーンと来ました。ああ、これが教育なんだなあ…と(笑)。



**中嶋** 仲間と学び合うことが感動体験につながるということが、実感できたのでしょ。先生の願いが通じたんですね。

**吉田** はい。**創作活動や体を動かすことが子どもたちをやる気にする**ということがわかった私たちは、ミュージカルにも挑戦しました。学年全員で歌って踊るんです。あの時の感動は、言葉では言い表せません。



(裏へ)

定価 860円

本体 819円

発行所=明治図書出版株式会社  
http://www.meijitoshu.co.jp  
東京都北区滝野川117-46-1  
郵便番号114-0023 振替00160-5-151318

Printed in Japan

雑誌05273-12



4910052731233  
00819